

一般社団法人日本映画テレビ技術協会 組織図

総会（代議員）  
理事会

総務	制度審議表彰委員会		会友（毎年）、名誉会員（5年毎）の推薦。 定款、諸規則の制定および改廃の立案。	
	選挙管理委員会		代議員の定数を正会員数（1月1日現在）より算出。選挙は任期終了日の2ヶ月前までに実施。	
	役員・代議員候補者推薦委員会		本部・支部より候補者を選挙管理委員会に推薦。	
経 理				
出 版	編集委員会		毎月開催、機関誌『映画テレビ技術』発行の委員会	
	技術手帳出版委員会		2年毎に発行の『技術手帳』出版委員会（隔年開催）	
学 術	ISO/TC36国内協議会		映画の規格に関するISO/TC36の主務団体。年6回奇数月に開催し、国際規格の制定・改訂・廃止等の審議を行う。	
	規格委員会		審議対象のISO規格について、関係する法人社および関連団体に確認し結果を取り纏め、TC36国内協議会に提言。	
顕 彰	個人賞選考委員会	栄誉賞 2008年度～	映像業界または協会の発展に寄与した功績者、功労者を表彰。旧・増谷賞、春木賞の趣旨を尊重継承し統合した賞。	
		優秀制作技術賞（柴田賞・鈴木賞）2017年度～	映画、テレビ、科学映像、イベント・プロモーション映像制作の諸技術に従事している技術者で、他の模範になり得る業績をあげ、職種に携わって概ね10年までの個人を表彰。	
		優秀執筆賞（小倉・佐伯賞）2017年度～	当該年度の機関誌「映画テレビ技術」に発表された記事のうち、特に卓抜した記事の執筆者を表彰。	
	技術開発賞運営委員会		映画・テレビ等の技術に関係ある発明・考案・研究・開発などから特に優秀なものを表彰。	
	映像技術賞運営委員会		映画・テレビ等の製作（制作）のために使われたあらゆる映像表現技術を対象に、特に優秀な技術を表彰。	
	青い翼大賞		次世代を担う新たな才能の発掘・育成を目的に「映像制作技術」の観点から学生作品を表彰。	
	経済産業大臣賞選考委員会		技術開発賞と映像技術賞受賞の中から、特に優秀と認められた技術1作品を表彰。	
	事 業	部 会	撮影部会	主に記録映画（ドキュメンタリー）のカメラマンを中心に組織し、撮影技術の向上を目的とする。
映像プロセス部会			ラボ、プロダクション、メーカーの技術者で組織し、映像プロセスに関するセミナーを企画、後進の育成を目的とする。	
テレビ映像部会			各局の報道カメラマンと技術者で組織し、テレビ技術に関するテーマで勉強会を企画する他、ドキュメンタリー、ニュース番組の顕彰活動を行う。	
アニメーション部会			アニメ、VFX、3D等アニメ制作で使われるあらゆる技術を研究検証し、年6回程度タイムリーなテーマで研究会を開催。	
シナシテム&ソリューション部会			映画館に関連する法人社で組織し、業界の技術・発展向上を目指す。旧・映画機械部会（2009年より変更）	
MPTE勉強会		法人会員社、及び各部会から最新技術をテーマに取り上げ、いち早く会員への情報提供を目的に開催。		
基礎技術セミナー		映像業界を目指す若者と入社2～3年目の若手技術者を対象に基礎技術をテーマに開催。		
広報・渉外		ホームページ、メール、印刷物等で協会活動（支部含）を広く告知。ホームページを充実すべく、会員専用ページでは各イベントの動画を配信、法人会員サービスとして法人の活動等をPRする。		
支 部	京都支部（京都・滋賀）	大阪支部（大阪・兵庫・和歌山・奈良）	中部支部（愛知・岐阜・三重・富山・石川・福井）	北海道支部
	九州支部（九州・沖縄）	東北支部（青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島）	中国支部（鳥取・島根・岡山・広島・山口）	※その他本部